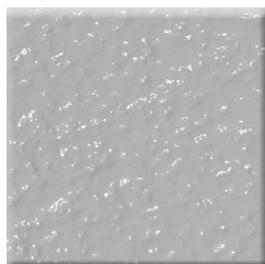


防水性と弾性で建物を美しく守る
外壁仕上げ塗材

ハイレン



ハイレンシリーズの特長



主材・ハイレンU
JIS A 6021
外壁用塗膜防水材アクリルゴム系

環境に配慮したオール水系仕様

標準仕様では、プライマー、主材およびトップコートにいたるまですべて有機溶剤を含まない水系材料としました。また、鉛・クロム等の重金属も使用しておらず、安全な作業環境と快適な居住空間、さらに周辺環境にも配慮した仕様です。

水分を遮断する機能

雨水の侵入から発生する鉄筋の錆、アルカリ骨材反応、凍害、漏水…。鉄筋コンクリートにとって水分の侵入は、大きな劣化原因です。その点、アクリルゴムを主成分とした主材層は造膜性に優れ、連続した被膜を形成しますから、外壁からの雨水等の侵入を遮断し、極めて高い防水効果を発揮します。

下地亀裂に追従する機能

ゴム状弾性・伸びが際立って優れていますので、低温から高温まで幅広い範囲でコンクリート躯体・モルタル下地等に発生する亀裂や変形に追従し、漏水のない美しい外観を永く保ちます。

塩素イオンを遮断する機能

水密性の高い連続被膜は、沿岸からの海水や潮風による塩害も防ぎます。鉄筋の腐食原因である塩素イオンを遮断して不動態被膜を守り、コンクリート躯体の劣化を防ぎます。

炭酸ガス・亜硫酸ガス等を遮断する機能

主材層は柔軟性に富んだアクリルゴムを主成分とし、ガス遮断性に優れています。空気中の炭酸ガスや自動車等の排気ガス中の亜硫酸ガス等を遮断し、コンクリート躯体をその腐食原因である中性化から守り、長期間にわたって建物を美しく守ります。

優れた耐候性

地域・季節を問わずあらゆる自然条件下で、特に寒冷地等の過酷な気象条件下でも、優れた耐候性を発揮します。長期間にわたって変退色や脆化、塗膜の破断・亀裂・剥離を発生せず、太陽熱・紫外線・雨水・凍結等から建物を保護します。

美しい壁面を創造

豊富なテクスチャーと多彩なカラーバリエーションがあります。建物のニーズに合わせて美しい仕上がりの壁面を創りあげます。

外壁化粧・防水形複層塗材 ハイレンU

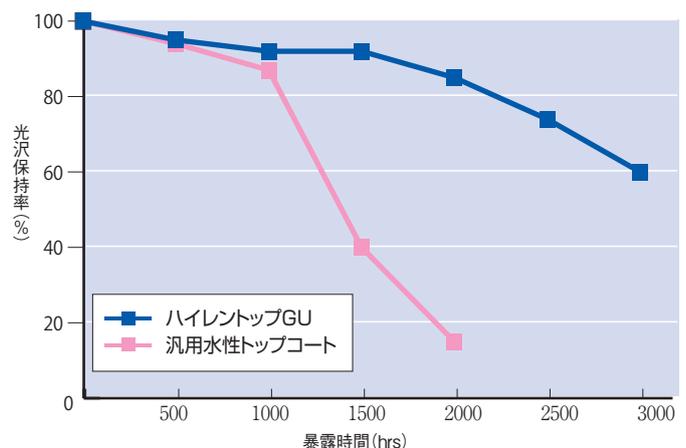
主材のハイレンUは、JIS A 6021 外壁用塗膜防水材アクリルゴム系に適合する防水性に優れた複層用の仕上げ塗材で、造膜性に優れており連続した厚い防水被膜を形成します。そのゴム状弾性体の優れた性能により、幅広い温度範囲で下地に発生する亀裂や変形に追従し、柔軟性に富む防水被膜は過酷な気象条件下においても優れた効果を発揮して、外壁からの雨水の侵入を確実に防ぎます。さらに優れた耐久性能は、紫外線・太陽熱・凍害・雨水等から建物を守り、変退色や脆化、塗膜の破断、亀裂・剥離を起こさず、あらゆる自然環境下で長期にわたって安定した性能を維持し、建物のライフサイクルコストを引き下げる効果があります。

外壁化粧・防水形外装薄塗材 NTハイレン

NTハイレンは、アクリルゴムを主成分とした弾性タイプの単層仕上げ塗材です。主材とトップコートを1本化して工程を省力化しながらも被膜に弾性があり、しかも緻密で強靱な塗膜を形成します。防水機能と共に従来の単層弾性塗材にはない耐汚染性を実現し、また、下地の微細なひび割れに対して高い追従性を有して長期にわたり建物の外壁を美しく保護します。

外壁化粧・弾性水系塗料 ハイレントップGU

環境に優しい水系反応硬化型アクリルポリウレタン樹脂系弾性トップコートです。塗膜は強靱で耐候性・耐紫外線性、また耐水性・耐アルカリ性にも優れ、自己架橋により反応硬化した塗膜は、柔軟性と耐汚染性を有します。



HY-1:さざ波(J25-85B)

ローラー工法

**HY-3:ゆず肌**(JN-70)

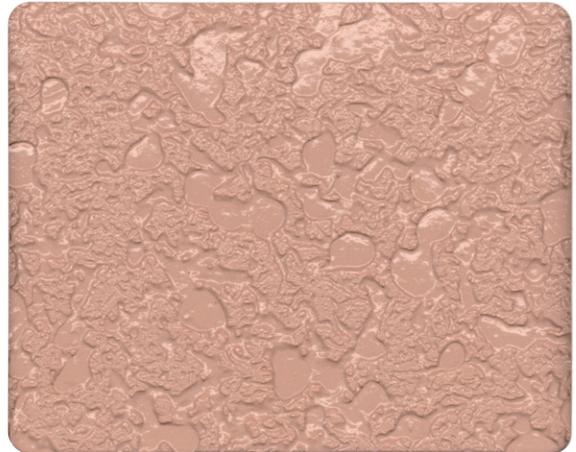
吹付け工法

**HY-4:凹凸玉吹き**(J15-70D)

吹付け工法

**HY-5:凸部処理**(J15-70H)

吹付け工法

**使用材料**

工程	塗材	荷姿	施工用具	調合	次工程間隔
プライマー	ハイレンプライマーK	15kg/缶	刷毛・ローラー・スプレー	(希釈なし)	夏 :1時間以上 春・秋 :1時間以上 冬 :2時間以上
下塗り	ハイレンU	20kg/缶	マスチックローラー(多孔質ローラー) リシンガン・モルタルガン	塗材:20kg 清水:0~0.4kg	夏 :16時間以上 春・秋 :16時間以上 冬 :16時間以上
模様塗り	ハイレンB	20kg/缶	マスチックローラー(多孔質ローラー) リシンガン・モルタルガン	塗材:20kg 清水:0~1kg	夏 :16時間以上 春・秋 :16時間以上 冬 :16時間以上
下塗り	NTハイレン	16kg/缶	マスチックローラー(多孔質ローラー)	塗材:16kg 清水:0~0.5kg	夏 :16時間以上 春・秋 :16時間以上 冬 :16時間以上
トップコート	ハイレントップGU	16kg/缶	刷毛・ローラー・スプレー	塗料:16kg 清水:0~2.4kg	



水系仕様



ローラー工法

ハイレンU仕様

吹付け工法

NTハイレン仕様

HY-1(さざ波)ローラー工法

工程	塗材	施工用具	所要量(kg/m ²)	塗装回数
プライマー	ハイレンプライマーK	刷毛・ローラー	0.2	1
下塗り	ハイレンU	マスチックローラー(多孔質ローラー)	0.8	1
模様塗り	ハイレンU	マスチックローラー(多孔質ローラー)	0.8	1
トップコート	ハイレントップGU	刷毛・ローラー	0.3	2

HY-2(さざ波)ローラー工法

工程	塗材	施工用具	所要量(kg/m ²)	塗装回数
プライマー	ハイレンプライマーK	刷毛・ローラー	0.2	1
下塗り	ハイレンU	マスチックローラー(多孔質ローラー)	1.7	2
模様塗り	ハイレンB	マスチックローラー(多孔質ローラー)	0.9	1
トップコート	ハイレントップGU	刷毛・ローラー	0.3	2

HY-3(ゆず肌)吹付け工法

工程	塗材	施工用具	所要量(kg/m ²)	塗装回数
プライマー	ハイレンプライマーK	刷毛・ローラー・スプレー	0.2	1
下吹き	ハイレンU	リシンガン・モルタルガン	1.7	1
模様吹き	ハイレンB	リシンガン・モルタルガン	0.9	1
トップコート	ハイレントップGU	刷毛・ローラー・スプレー	0.3	2

HY-4(凹凸玉吹き)吹付け工法

工程	塗材	施工用具	所要量(kg/m ²)	塗装回数
プライマー	ハイレンプライマーK	刷毛・ローラー・スプレー	0.2	1
下吹き	ハイレンU	リシンガン・モルタルガン	1.7	1
模様吹き	ハイレンB	リシンガン・モルタルガン	0.9	1
トップコート	ハイレントップGU	刷毛・ローラー・スプレー	0.3	2

HY-5(凸部処理)吹付け工法

工程	塗材	施工用具	所要量(kg/m ²)	塗装回数
プライマー	ハイレンプライマーK	刷毛・ローラー・スプレー	0.2	1
下吹き	ハイレンU	リシンガン・モルタルガン	1.7	1
模様吹き	ハイレンB	リシンガン・モルタルガン	0.9	1
ローラー押え		ローラー押え		
トップコート	ハイレントップGU	刷毛・ローラー・スプレー	0.3	2

NT-1(さざなみ)ローラー工法

工程	塗材	施工用具	所要量(kg/m ²)	塗装回数
プライマー	ハイレンプライマーK	刷毛・ローラー	0.2	1
下塗り	NTハイレン	マスチックローラー(多孔質ローラー)	1.0	1
模様塗り	NTハイレン	マスチックローラー(多孔質ローラー)	0.4	1

※出隅・入隅・目地部・開口廻り等には、増し塗り材として「ハイレンU」または「NTハイレン」0.9kg/m²を使用します。(プライマー塗布後の工程で)

※凹凸(玉吹き)模様の大きさは「ハイレンB」の使用量を増減して調整できます。

※下地の種類によってはハイレンプライマーKが使用できない場合もあります。ご相談ください。

■「JIS A 6909建築用仕上塗材 防水形複層塗材E」適合仕様

下塗材	ハイレンプライマー
主材	ハイレンU
上塗材	ハイレントップHU

ハイレン製品一覧表

	品名	規格	品種・用途 他
下地調整材	リグレー	18kg/缶	SBRエマルジョン混和材
	リグレーパウダー薄塗り用	20kg/袋	薄塗り用プレミックスパウダー
	リグレーパウダー厚塗り用	20kg/袋	厚塗り用プレミックスパウダー
	ハイレンビダンセイ	16kg/缶	アクリル樹脂系微弾性フィラー 塗り替え用下地調整材
水系プライマー	ハイレンプライマーK	15kg/缶	カチオン系マイクロエマルジョン
溶剤系プライマー	ハイレンプライマー	15kg/缶	塩化ゴム系(JIS A 6909適合品)
	ハイレンBNプライマー	1kg/缶	湿気硬化型ウレタン樹脂系 万能プライマー
	シールベースP	1kg/缶	湿気硬化型ウレタン樹脂系 シーリング材ブリード防止用
弾性主材	ハイレンU	20kg/缶	アクリルゴムエマルジョン系防水形複層塗材E(ダンセイトイル) JIS A 6021 適合品 JIS A 6909 適合品
	ハイレンB	20kg/缶	アクリルゴムエマルジョン系防水形複層塗材E 模様吹き材
	NTハイレン	16kg/缶	アクリルゴムエマルジョン系防水形外装薄塗材E(単層弾性) 低汚染タイプ
弾性水系 トップコート	ハイレントップGU	16kg/缶	反応硬化型アクリルポリウレタン樹脂系
	ハイレントップGA	16kg/缶	アクリル樹脂系
弾性弱溶剤系 トップコート	ハイレントップTS	15kg/缶	ターベン可溶アクリルシリコン樹脂系 低臭タイプ
	ハイレントップTU	A液12kg・ B液2kg/セット	ターベン可溶アクリルポリウレタン樹脂系 低臭タイプ・低汚染タイプ
弾性溶剤系 トップコート	ハイレントップF	A液8kg・ B液4kg/セット	フッ素樹脂系
	ハイレントップS	A液10kg・ B液5kg/セット	アクリルシリコン樹脂系
	ハイレントップHU	A液12kg・ B液4kg/セット	アクリルポリウレタン樹脂系(JIS A 6909適合品)
	ハイレントップU	A液12kg・ B液4kg/セット	アクリルポリウレタン樹脂系 低汚染タイプ
希釈剤(溶剤)	ハイレンプラスTU	12.7kg/缶	ハイレントップTU・TS用
	ハイレンプラスF	14kg/缶	ハイレントップF用
	ハイレンプラスS	14kg/缶	ハイレントップS用
	ハイレンプラスHU	14kg/缶	ハイレントップHU用
	ハイレンプラスU	14kg/缶	ハイレントップU用

【注意事項】

■塗装上の注意

気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗装を避けてください。
降雨・降雪・結露の恐れのある場合は、塗装を避けてください。
使用前に十分かくはんし、内容物を均一にしてから塗装してください。
過剰の希釈は、乾燥が遅れ、たるみを生じますのでご注意ください。
エアレス塗装の場合、ミスト汚染防止には、十分配慮してください。
使用後の塗装器具は、できるだけ早く洗浄してください。

■取扱い上の注意(共通)

- 取扱い中には、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻タオル・保護手袋・前掛けなど。
- 臭いは、食料品・飲食器・衣類などうつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは、養生するなど十分に注意してください。
- 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布などで拭き取って処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診断を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時には、直ちに医師の診断を受けてください。
- 取り扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密閉し、40℃以下で子供の手の届かない場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など。
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要などときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■溶剤系材料

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸引すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業所には、局所排気装置を設けてください。
- 必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの保護具を着用してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。

全国防水改修工事業団体連合会

北海道防水改修事業センター 北陸防水改修事業センター
東北防水改修工事協同組合 関西防水管理事業協同組合
関東防水管理事業協同組合 中国防水改修事業センター
東海防水改修工事協同組合 九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社

<https://www.tajima.jp>

東京支店	〒101-8579	千代田区外神田4-14-1	TEL 03-6837-8888
大阪支店	〒550-0003	大阪市西区京町堀1-10-5	TEL 06-6443-0431
札幌営業所	〒060-0042	札幌市中央区大通西6-2-6	TEL 011-221-4014
仙台営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央1-6-35	TEL 022-261-3628
北関東営業所	〒330-0801	さいたま市大宮区土手町1-49-8	TEL 048-641-5590
千葉営業所	〒260-0032	千葉市中央区登戸1-26-1	TEL 043-244-3711
横浜営業所	〒231-0012	横浜市中区相生町6-113	TEL 045-651-5245
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町1-12-20	TEL 042-503-9111
金沢営業所	〒920-0025	金沢市駅西本町1-14-29	TEL 076-233-1030
名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄1-9-16	TEL 052-220-0933
広島営業所	〒730-0029	広島市中区三川町2-10	TEL 082-545-7866
福岡営業所	〒810-0041	福岡市中央区大名2-4-35	TEL 092-724-8111